

2023年度

事業報告書

自 2023年4月 1日
至 2024年3月31日

公益財団法人 根津美術館

東京都港区南青山6丁目5番1号

目次

I 公益事業.....	3
【事業の趣旨】	3
【施設の概要】	3
【事業の概要】	3
1. 展示活動.....	3
(1) 特別展・企画展	3
(2) 日本庭園	5
(3) ミュージアムショップ	5
(4) 喫茶店	6
2. 美術品の収集、保管及び修理.....	6
(1) 美術品の購入.....	6
(2) 美術品の寄贈受入.....	6
(3) 美術品の寄託受入.....	6
(4) 美術品の保管	6
(5) 美術品の修理.....	7
3. 調査研究.....	7
(1) 調査・研究.....	7
(2) データベース	7
(3) 研究資料の整備	8
(4) 学術プロジェクトへの参加	8
(5) 美術品の閲覧.....	9
4. 教育普及.....	10
(1) 催事.....	10
(2) インターネットによる広報	11
(3) プレスリリース	11
(4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット	12
(5) 内覧会・レセプション	12
(6) 施設案内パンフレット	12
(7) 他美術館との協力.....	12
(8) 地域との連携.....	12
(9) 有料広告	13
(10) 根津倶楽部.....	13
(11) NEZUNET	13
(12) 青山茶会.....	13
(13) 美術品の館外貸出	14
(14) 画像の貸出.....	16
(15) 施設の貸与.....	16

II	収益事業.....	17
	【事業の概要】	17
	1. 不動産事業	17
III	庶務の概要	17
	1. 役員.....	17
	2. 職員.....	19
	3. 役員会	20
	(1) 理事会.....	20
	(2) 評議員会	21
IV	事業報告の附属明細書	22

I 公益事業

【事業の趣旨】

1940 年（昭和 15 年）11 月、初代根津嘉一郎（1860～1940）の遺志により財団法人を設立、翌年 10 月に開館した根津美術館は、美術品の展示及び教育・普及活動を行うことにより、多くの人々が日本・東洋古美術を鑑賞し、芸術・文化に関する理解を深めることを目的とした諸事業を展開している。

本年度もその理念に基づき、特別展 2 回と所蔵美術品による企画展 5 回、および特別企画の展覧会 1 回を開催した。また、展覧会に関連した講演会、シンポジウム、スライドレクチャー、さらに会員向けプログラム、施設を利用した催事も各種、実施した。

引き続き所蔵美術品の調査研究を行い、その成果を展覧会に反映するとともに、紀要や図録等の刊行物により公表し、館外の学術研究及び教育普及活動への協力等を行った。また、継続的な収集活動によってコレクションの充実を図り、保管環境の整備や修理等により、美術品の維持・管理に努めた。

【施設の概要】

2009 年（平成 21 年）10 月に新創開館した本館は地上 2 階（展示室 1～6 等）、地下 1 階（講堂等）。1990 年に建設した展示施設を 2007 年に収蔵庫と事務室に改装した事務棟は地上 2 階、地下 1 階からなる。2009 年度に地域新エネルギー等導入促進対策費補助金補助事業で導入した、本館 2 階屋根上の 252 枚のソーラーシステムパネルを引き続き運用し、資源エネルギーの活用に努めている。

日本庭園には、薬師堂および茶室 4 棟があり、各所に石造物約 150 件が据えられている。庭園の豊かな樹木は港区の保護樹林に指定されている。

【事業の概要】

1. 展示活動

（1）特別展・企画展

美術館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時までとし、月曜日と展示替期間及び年末年始を除く毎日開館した。特別展「国宝・燕子花図屏風—光琳の生きた時代 1658～1716—」会期中の 5 月 9 日から 14 日までの 6 日間は、午後 7 時まで開館時間を延長した。また、快適な観賞空間確保のための入館者数のコントロールと事前決済による受付のスムーズ化を目的として、2020 年度の秋に導入したオンライン日時指定予約制を引き続き実施した。

入館料は、特別展一般 1,500 円、学生 1,200 円、企画展一般 1,300 円、学生 1,000 円とした（いずれも中学生以下は無料）。また、オンライン日時指定予約の利用促進のため、予約をしていない来館者には、上記の入館料に一律 100 円を上乗せした。障害者手帳提示者と同伴 1 名及び運転経歴証明書提示者へは 1 名につき 200 円の割引を行ったが、次回展の前売券（200 円割引）の販売は引き続き中止とした。また、会員証の提示で、ICOM（国際博物館会議）は会員本人、日本博物館協会は会員本人と同伴者 1 名を無料とした。

2023 年度は、開館日数計 224 日間に、来館者 264,415 名（うち有料来館 242,439 名）を迎えた。

展示室 1・2 では、下記の特別展および企画展、さらに今年度は特別企画の展覧会を開催した。同時に、展示室 5 では、特別展・企画展の内容とのバランスをはかり、それと異なるあるいは連動するジャンルやテーマに基づくテーマ展示を、また展示室 6 では季節に合わせた茶道具の展示を下記のとおり行った。

ホール～展示室 3「仏教美術の魅力」のうち、展示室 3 は 4 月 15 日から「中国・朝鮮の小金銅仏」（小金銅仏 4 軀、光背 1 点）、12 月 16 日からは「平安時代後期の仏像」（3 軀）にそれぞれ展示替えを行った。また、展示室 4「古代中国の青銅器」では青銅器の通期展示を行うとともに、展示室の一

角に設けた覗きケースで、4月15日から「11～13世紀の鏡—中国・朝鮮半島・日本—」、9月2日から「戦国時代の鏡」、12月16日から「辰年だ！龍が来た！」のテーマで中国・朝鮮半島・日本の鏡を展示した。

特別展および企画展は原則、所蔵美術品を中心に、適宜特別出品、参考出品等の作品により構成した。いずれの展覧会も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となって、作品の選定、運搬、会場構成、展示、特別展図録等の作成を行った。ただし、秋の特別展「北宋書画精華」は当館理事の板倉聖哲・東京大学東洋文化研究所教授に監修を仰ぎ、板倉教授によって再発見された李公麟「五馬図巻」（現・東京国立博物館蔵）やアメリカ・メトロポリタン美術館の同「孝経図巻」を含め、ほぼすべてが借用作品による展示となった。また年度の最後には、展示室1での企画展「魅惑の朝鮮陶磁」にあわせ、展示室2において特別企画「謎解き奥高麗茶碗」を開催した。いずれも、鑑賞しやすさを考慮した展示に努め、国内外からの来館者が理解しやすい日本語・英語表記の展示解説を付し、日本語の音声ガイドを備えた。また、外部業者に委託して、館内巡回の徹底と、来館者対応を補完し、快適な鑑賞環境の向上に努めた。

・特別展「国宝・燕子花図屏風—光琳の生きた時代 1658～1716—」 展示室1・2

2023年4月15日（土）～5月14日（日） 展示日数27日間

同時開催「西田コレクション受贈記念Ⅱ 唐物」 展示室5

「初夏の茶の湯」 展示室6

入館者 53,411名（有料 49,185名）

・企画展「救いのみほとけ—お地蔵さまの美術—」 展示室1・2

2023年5月27日（土）～7月2日（日） 展示日数32日間

同時開催「西田コレクション受贈記念Ⅲ 阿蘭陀・安南 etc.」 展示室5

「涼一味の茶」 展示室6

入館者 29,453名（有料 27,351名）

・企画展「物語る絵画—涅槃図・源氏絵・舞の本…—」 展示室1・2

2023年7月15日（土）～8月20日（日） 展示日数32日間

同時開催「物語で楽しむ能面」 展示室5

「盛夏の茶事」 展示室6

入館者 33,693名（有料 30,131名）

・企画展「甲冑・刀・刀装具—光村コレクション・ダイジェスト—」 展示室1・2

2023年9月2日（土）～10月15日（日） 展示日数38日間

同時開催「二月堂焼経—焼けてもなお煌めく—」 展示室5

「月見の茶」 展示室6

入館者 35,696名（有料 33,317名）

・特別展「北宋書画精華」 展示室1・2・5

2023年11月3日（金・祝）～12月3日（日） 展示日数27日間

同時開催「北宋工芸—館蔵品より—」 展示室6

入館者 42,573名（有料 39,390名）

・企画展「繡と織—華麗なる日本染織の世界—」 展示室1・2

2023年12月16日（土）～2024年1月28日（日） 展示日数29日間

同時開催「中国の故事と人物」 展示室5

「寿茶会—来福を願う—」 展示室6

入館者 32,351名（有料 29,529名）

・企画展「魅惑の朝鮮陶磁」 展示室 1

特別企画「謎解き奥高麗茶碗」 展示室 2

2024 年 2 月 10 日（土）～3 月 26 日（火） 展示日数 39 日間

同時開催「ひな人形と百椿図」 展示室 5

「春の茶の湯―釣り釜―」 展示室 6

入館者 37,238 名（有料 33,536 名）

なお、2020 年度からの新型コロナウイルスの流行による影響で激減した外国人入館者の割合も回復、コロナ禍以前の水準を上回るまでになった。過去 7 年間の年間平均の推移は以下の通り。

2017 年度	23.7%
2018 年度	26.1%
2019 年度	27.3%
2020 年度	4.1%
2021 年度	3.8%
2022 年度	18.8%
2023 年度	40.0%

海外からの要人の往来が増加するにつれ、当館での受け入れも昨年より増加した。在京外国公館からの入館者数には引き続き大きな変動はなかった。

（2）日本庭園

17,000 平米におよぶ日本庭園は、中央に湧水の池を配する変化に富んだ地形に喬木や灌木が茂り、池の周囲に建つ 4 棟の茶室や点在する約 150 件の石造物が風情を添える。四季に応じた自然の変化を楽しむことのできる庭園の存在は、当館の特色のひとつでもある。本年度も、樹木の剪定・枯枝の除去、散策路の整備等を意欲的に行い、来館者の安全安心を最優先した環境の整備に心がけ、生態系の維持管理に努めた。特に、専門の樹木匠に約 1 千本の樹木を対象に本格的な点検を依頼し、危険と判断された木や枝について、伐採または保全措置を講じることを進めた。

原則毎月木曜日に 1 棟ずつ、一般来館者向けの茶室見学会を実施した。

東京都建設局公園緑地部の呼びかけに応じ、「東京の日本庭園おもてなし協議会」に加盟 10 年目。春と秋に発行される「東京いい庭キャンペーン」の冊子（日本語、英語）の掲載・配布協力は例年通り行った。定期会合（オンライン開催）を通じた意見交換等の活動に参加。昨年に続き、新型コロナウイルスの流行が落ち着いた紅葉の時期には、例年通り茶室周辺の茶庭の開放と Twitter フォトギャラリーを実施。美術館入館が予約制となった中でも、昨年同様の投稿があり、身近に自然の移り変わりを楽しむ場としてのニーズが逆に高まっているように感じられた。

（3）ミュージアムショップ

ホールに隣接するミュージアムショップでは、当館の施設や所蔵美術品、開催の展覧会に関連した商品を取り揃え、来館者の多様なニーズに合った、また知的欲求に合う商品の販売活動を行った。

学術研究の成果に基づく図録や研究紀要等の書籍に加え、展覧会の内容を考慮した専門書・一般書籍を販売するとともに、出展作品の絵葉書やグリーティングカード類、また所蔵美術品をもとにデザイン性や適正な価格を考慮したオリジナル商品を企画・制作・販売した。さらに、適宜、季節や展覧会のテーマに合った委託商品を加えることでバリエーション豊かな商品構成とし、また効果的なディスプレイを工夫することにより、当館ならではのショップづくりを促進した。

本年度、新たに製作したオリジナル商品は 8 品目 27 種類。新しいラインナップとして「大津絵貼

交屏風」をモチーフとする付箋と絵葉書を制作した。また、引き続き卓上カレンダーと大型版カレンダーをともに制作、販売した。

(4) 喫茶店

庭園内に設置された NEZUCAFÉ は、来館者の憩いや談話の場である。定番の商品に、季節に応じた新商品を適宜加えることでメニューに変化をつけ、魅力あるメニュー作りを行ってきた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座席数半減、アクリル板設置、メニューの品数限定等の措置をとっていたが、2023 年 5 月に、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に位置づけられたことも踏まえ、感染症拡大防止に引き続き意を用いつつ、喫茶店としての魅力、満足度の向上を図るため、座席数の緩やかな復元やメニューの充実を行った。

2. 美術品の収集、保管及び修理

(1) 美術品の購入

本年度、下記的美術品を購入した。

重要文化財 古今和歌集巻第十九断簡（高野切／施頭歌） 1 幅
黒樂茶碗 銘 くいちがみ 本阿弥光悦作 1 口

(2) 美術品の寄贈受入

本年度、下記的美術品の寄贈を受入れた。

彩磁椿文香炉 板谷波山作 1 口 寄贈者 三嶋英子氏

(3) 美術品の寄託受入

本年度、美術品の寄託受入はなかった。

(4) 美術品の保管

所蔵美術品の保管を万全にするために、以下の作業を行った。

(展示施設)

- ① 展示施設内の虫害に対する、トラップを用いたモニタリング調査を、年間 2 回（5 月 17 日～6 月 15 日、9 月 14 日～10 月 18 日）実施して、施設環境の監視を行なった。
- ② 展示ケース内の除塵防黴作業を、年間 3 回（4 月 4 日～7 日、10 月 18 日～20 日、1 月 30 日～31 日）に分けて行った。
- ③ 展示ケース等の展示什器を保管する備品庫 1 の簡易除塵防黴及び簡易燻蒸（清掃及び文化財害虫用薬剤散布）を年間 1 回（5 月 16 日～18 日）行った。
- ④ 虫害の可能性のある展示什器類や新規作成した保存箱等の被覆燻蒸施工を、年間 1 回（5 月 16 日～18 日）行った。
- ⑤ 壁付展示ケース及び移動ケースのメンテナンス作業を、年間 4 回（5 月 15 日～17 日、7 月 12 日、8 月 22 日、10 月 24 日）行った。
- ⑥ 展示ケース内の環境を確認するため、パッシブインジケータを用いた酸・アルカリの濃度計測を、年間 1 回（8 月 15 日～18 日）行い、別途展示室 5 で北川式検知管を用いた計測を、年間 1 回（5 月 15 日～17 日）行った。
- ⑦ 展示施設内の温湿度環境モニタリングのため、10 月 11 日にデータロガー（温湿度測定・記録計）計 24 台のバッテリー交換を行った。

(収蔵施設)

- ① 収蔵庫の虫害に対する、トラップを用いたモニタリング調査を、年間 2 回（5 月 17 日～6 月 15 日、9 月 14 日～10 月 18 日）実施し、収蔵環境の監視を継続した。
- ② モニタリング調査の結果をもとに、収蔵庫・前室に対し職員による大規模清掃を年間 1 回（12 月 25 日）、専門業者による除塵防黴作業を年間 1 回（1 月 11 日～12 日）実施。さらに写場・前室に対し除塵防黴作業を年間 1 回（1 月 12 日～13 日）実施。更に写場・前室に対し除塵防黴作業を年間 1 回（7 月 20 日～21 日）実施した。
- ③ 収蔵庫内の温湿度環境モニタリングのため、10 月 11 日にデータロガー（温湿度測定・記録計）計 15 台のバッテリー交換を行った。

（5）美術品の修理

以下の所蔵美術品の修理を実施した。

- ① 国庫補助修理

国宝 漁村夕照図	1 幅	岡墨光堂
重文 花白河蒔絵硯箱	1 合	目白漆芸
- ② 自費修理

毘沙門天立像	1 軀	あきかわ造仏所
銅造観音菩薩立像 台座制作	1 基	三乗堂
地藏菩薩立像 台座修復	1 基	あきかわ造仏所
紅白浅黄段枝垂尾長模様縫箔	1 領	共立女子大学
黒綸子地鳳凰花模様繡紋打掛	1 領	共立女子大学
大方広仏華嚴経断簡	1 卷	半田九清堂
刀剣手入	170 振	本阿弥雅夫

3. 調査研究

（1）調査・研究

引き続き、所蔵美術品に関わる調査・研究を行い、新たな知見を、後記の通り展覧会や館外での学会等で発表するとともに、研究成果にもとづく研究紀要および所蔵品図録を出版した。所蔵品図録では、2020 年度より「新蔵品選」全 12 冊（予定）の刊行を開始、今年度は第 5 冊として「近世絵画」、第 6 冊として「染織・能面」を発行した。

① 紀要

『根津美術館紀要 此君 第 15 号 特集 根津美術館と初代根津嘉一郎の茶室』	2024 年 3 月 31 日発行	800 部
---	-------------------	-------

② 所蔵品図録

『根津美術館 新蔵品選 近世絵画』	2023 年 4 月 15 日発行	3,000 部
『根津美術館 新蔵品選 染織・能面』	2023 年 12 月 16 日発行	2,500 部

③ 特別展図録・特別企画図録

『北宋書画精華』	2023 年 11 月 3 日発行	6,000 部
	2023 年 11 月 24 日二刷	2,000 部
	2023 年 11 月 30 日三刷	3,000 部
『謎解き奥高麗茶碗』	2024 年 2 月 10 日発行	2,500 部

（2）データベース

2009 年度に基本システムが完成した当館の収蔵品データベースについて、データの入力・更新、

デジタル画像の登録、ならびにシステムの改善を行った。アルバイト 1 名を雇用し、下記の作業を行った。

- ① 引き続き、展示履歴および作品解説の入力作業を行った。また、前年に引き続き、画像の閲覧性を高めるべく、画像の配列を改良した。
- ② 新規撮影したデジタル画像の登録を、引き続き行った。

(3) 研究資料の整備

美術品の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入・収集・整理を行った。

- ① 昨年度に引き続き、図書の受入や収蔵図書データベースの整備や修正を行うことで、図書管理体制の充実化を図った。アルバイト 2 名を雇用し、購入・受贈図書の新規受け入れの他、展覧会図録の曝書（蔵書点検）とデータの見直し、及び修正を終了した。また、昨年度に開始した海外の発掘報告書に新たな分類記号を付与する作業を完了し、保存管理の効率化を図った。
- ② 美術館・博物館等 190 機関の学術刊行物、および当館作品掲載図書等 546 冊を受贈した。
- ③ 展覧会の開催や当館所蔵品の研究のため、163 冊の図書・雑誌を購入した。

(4) 学術プロジェクトへの参加

・展覧会図録、学術研究誌および単行本上に、下記のとおり、当館学芸員が研究成果を発表した。

野口 剛 「池大雅筆 飲中八仙歌屏風」(『國華』1530 号)
福島洋子 「一山一寧墨蹟 進道語」(『國華』1540 号)

・館外の研究・教育機関等の依頼により、下記のとおり、当館学芸員が講演を行った。

松原 茂 國華清話会第三十三回特別鑑賞会講演 演題「舶載唐紙について」
野口 剛 Three Layers Forming the Pictorial Image: Suzuki Kiitsu's Mountain Streams in Summer and Autumn (Mary Griggs Burke Center for Japanese Art, Columbia University)

・文部科学省・文化庁・教育委員会、独立行政法人および公私立の博物館・美術館等の要請により、下記のとおり、当館学芸員が、美術品の指定、購入、修理、技術保存、館の運営に関わる会議に委員として参画した。

西田宏子 佐賀県文化財保護審議会
松原 茂 宮内庁三の丸尚蔵館運営懇談会
東京国立博物館 有形文化財買取協議会（常任委員）
本田 諭 東北歴史博物館 資料評価委員会
足利市文化財専門委員会
宇都宮市文化財保護審議委員会
永田智世 文化庁 伝統工芸超分野交流事業企画選定審査委員会
文化庁 無形文化財工芸技術資料買取評価会
文化庁 国宝春日大社古神宝類復元模造事業審査委員会
下村奈穂子 公益財団法人日本博物館協会 美術品梱包輸送技能取得士試験（審査員）

・文化庁、独立行政法人、公私立の博物館・美術館および研究者の要請により、下記の通り、当館学芸員が、学術研究に参画した。

松原 茂 東京国立博物館 客員研究員

本田 諭 栃木県立博物館 調査研究協力員
永田智世 文化庁文化財第一課 非常勤調査員
玉井あや 日本染織文化資源の再発見とその活用に資する基盤研究 科学研究費助成金基盤研究(A) (一般)

(5) 美術品の閲覧

以下のとおり、所蔵美術品の特別閲覧を行った。

[2023 年]

4 月 18 日	大阪電気通信大学 (4 名)	茶室 4 棟	
4 月 21 日	長野県立歴史館 (1 名)	重要美術品「瀬戸獅子香炉」	
4 月 19 日	東京国立博物館 (1 名)	重要文化財「秋野蒔絵手箱」	他 7 件
4 月 26 日	東京国立博物館 (4 名)	能面 25 件	
5 月 17 日	東京国立博物館 (1 名)	「蘭堆朱香合」	
6 月 1 日	大阪歴史博物館 (1 名)	「高砂図小柄」	他 32 件
6 月 7 日	大手前大学 (2 名)	「朝日焼茶碗」	他 2 件
6 月 6 日	The Metropolitan Museum of Art (2 名)	「古銅龍文象耳花入」	他 1 件
6 月 7 日	東京富士美術館 (2 名)	「源氏物語画帖」	他 1 件
6 月 8 日	日本民藝館 (2 名)	泥絵 125 件	
6 月 16 日	東京国立博物館 (3 名)	能面 26 件	
6 月 22 日	松江市文化スポーツ部松江城 (4 名)	「岩竹図」	他 7 件
6 月 28 日	東京国立博物館 (1 名)	「脇指」	他 16 件
7 月 4 日	出光美術館 (1 名)	重要文化財 青磁竹子形花入	他 4 件
7 月 16 日	奈良国立博物館 (1 名)	重要文化財「阿弥陀如来像」	他 1 件
7 月 20 日	筑波大学 (3 名)	重要文化財「夏秋溪流図屏風」	
7 月 23 日	大阪電気通信大学 (3 名)	茶室 4 棟	
7 月 27 日	東京国立博物館 (5 名)	能面 20 件	
7 月 28 日	大阪市立東洋陶磁美術館 (1 名)	重要文化財「雨漏茶碗」	他 8 件
8 月 3 日	法政大学能楽研究所 (1 名)	「白茶地市松孔雀唐草模様唐織」	他 19 件
8 月 6 日	大阪電気通信大学 (2 名)	茶室 4 棟	
9 月 7 日	東京国立博物館 (3 名)	「加彩塑象」	
9 月 22 日	武蔵野美術大学 (2 名)	「這龍図二所物」	他 18 件
10 月 3 日	女子美術大学 (2 名)	「謡寄蒔絵提重」	
10 月 12 日	作家・漆芸研究家 (1 名)	「膳・椀」	
11 月 16 日	東京国立博物館 (2 名)	重要文化財「夕陽山水図」	他 4 件
11 月 8 日	刀剣研究家 (1 名)	刀装具 (計 3 回のうち 1 回)	818 件のうち
11 月 11 日	文化庁 (1 名)	「源氏物語画帖」	他 2 件
11 月 16 日	九州歴史資料館 (2 名)	「両帝図屏風」	
11 月 16 日	筑波大学 (4 名)	「三楽八花鑑」	他 3 件
11 月 17 日	岡崎市美術博物館 (1 名)	「酒呑童子絵巻」	他 1 件
11 月 21 日	紫翠窯 (1 名)	「錆絵染付筋文茶碗」	
11 月 30 日	刀剣研究家 (1 名)	刀装具 (計 3 回のうち 2 回)	818 件のうち
12 月 16 日	刀剣研究家 (1 名)	刀装具 (計 3 回のうち 3 回)	818 件のうち
12 月 22 日	MIHO MUSEUM (1 名)	「宇治図屏風」	他 1 件

[2024 年]

1 月 12 日	徳川美術館 (1 名)	「蘭堆朱香合」 他 4 件
1 月 24 日	文化庁 (1 名)	「金峯山埋経」
1 月 25 日	元興寺文化財研究所 (1 名)	「仏説一切施王行檀波羅密経」 他 3 件
1 月 26 日	岡山県立博物館 (1 名)	重要文化財「雨漏茶碗」 他 2 件
3 月 1 日	フランス国立極東学院 (2 名)	「伊勢参宮道中図屏風」
3 月 5 日	泉屋博古館 (2 名)	「饗餐文爵」 他 24 件
3 月 8 日	徳島県立博物館 (1 名)	「人物蒔絵硯箱」
3 月 14 日	茨城県立歴史館 (1 名)	「龍虎図屏風」

計 43 件 閲覧者 78 名 作品総数 1218 件

4. 教育普及

(1) 催事

特別展・企画展ごとに担当学芸員によるスライドレクチャーを実施した。また、特別展「北宋書画精華」より外部講師による講演会を再開するとともに、東京大学美術史研究室との共催によるシンポジウム、研究者向けの特別鑑賞会（スカラーズデイ）を実施した。開催実績および出席者数は下記のとおりである。特別な記載がないものは、当館講堂にて実施した。

[2023 年]

・特別展「国宝・燕子花図屏風－光琳の生きた時代 1658～1716－」

スライドレクチャー (第 1 回) 4 月 21 日 (金) 11:30～12:15	参加者 73 名
スライドレクチャー (第 2 回) 4 月 28 日 (金) 11:30～12:15	参加者 78 名
スライドレクチャー (第 3 回) 5 月 9 日 (火) 17:30～18:15	参加者 62 名

・企画展「救いのみほとけ－お地蔵さまの美術－」

スライドレクチャー (第 1 回) 6 月 2 日 (金) 11:30～12:15	参加者 48 名
スライドレクチャー (第 2 回) 5 月 23 日 (金) 11:30～12:15	参加者 64 名

・企画展「物語る絵画－涅槃図・源氏絵・舞の本……」

スライドレクチャー (第 1 回) 7 月 21 日 (金) 11:30～12:15	参加者 78 名
スライドレクチャー (第 2 回) 8 月 4 日 (金) 11:30～12:15	参加者 73 名

・企画展「甲冑・刀・刀装具－光村コレクション・ダイジェスト－」

スライドレクチャー (第 1 回) 9 月 15 日 (金) 11:30～12:15	参加者 49 名
スライドレクチャー (第 2 回) 9 月 29 日 (金) 11:30～12:15	参加者 36 名

・特別展「北宋書画精華」

講演会 (第 1 回) 11 月 12 日 (日) 13:30～15:00

板倉聖哲氏 (東京大学東洋文化研究所教授) 「『五馬図』のある北宋絵画史」 参加者 106 名

講演会 (第 2 回) 11 月 26 日 (日) 13:30～15:00

石守謙氏 (中央研究院特聘研究員) 「『五馬図』をめぐる五つの物語」 参加者 126 名

国際学術シンポジウム 於・東京大学総合学術研究棟 11 月 4 日 (土) 10:00～17:45

参加者 167 名 (対面)、432 名 (オンライン)

スカラーズデイ 11 月 6 日 (月) 13:00～15:00 参加者 97 名

スライドレクチャー (第 1 回) 11 月 10 日 (金) 11:30～12:15 参加者 55 名

スライドレクチャー (第 2 回) 11 月 17 日 (金) 11:30～12:15 参加者 58 名

スライドレクチャー (第 3 回) 11 月 24 日 (金) 11:30～12:15 参加者 87 名

・企画展「繡と織－華麗なる日本染織の世界－」

スライドレクチャー（第1回）12月22日（金）11:30～12:15 [2024年]	参加者 87 名
スライドレクチャー（第2回）1月12日（金）11:30～12:15 ・企画展「魅惑の朝鮮陶磁」 特別企画「謎解き奥高麗茶碗」	参加者 86 名
講演会 3月2日（土）13:30～15:00 西田宏子「謎解き奥高麗茶碗」	参加者 118 名
スライドレクチャー（第1回）2月23日（金）11:30～12:30	参加者 86 名
スライドレクチャー（第2回）3月15日（金）11:30～12:30	参加者 90 名

加えて、特別企画として下記の催事を実施した。特別な記載がないものは、当館講堂にて実施した。

・「現代茶人の茶席」 於・披錦斎

11月23日（木・祝） 潮田洋一郎氏

12月3日（日） 増田宗祿氏

各日定員 65 名（13 名×5 席） 参加費 8,000 円 申込者 130 名、参加者 129 名

・「茶杓をけずってみよう」

10月7日（土） 講師：池田泰輔氏（竹楽会講師・竹芸家）

定員 20 名（10 名×2 回） 参加費 10,000 円 申込者 20 名、参加者 20 名

・「はじめての茶席 -2024 年春-」 於・披錦斎

3月23日（土）

定員 78 名（13 名×6 席） 参加費 2,500 円 申込者 78 名、参加者 73 名

（2）インターネットによる広報

展覧会や各種の催事、施設等の情報発信窓口である当館ウェブサイト (<https://www.nezu-muse.or.jp>) は目下、日本語版と英語版をそれぞれ PC、携帯端末の双方で適正に閲覧できるかたちで運営している。年間の閲覧回数は約 2,700,000 アクセス（昨年度 1,406,218 アクセス）、ユーザー数は約 1,220,000 名（昨年度 991,046 名）と、新型コロナウイルス感染拡大前の 2019 年度の水準を上回るまで回復した。また、ユーザーのうち日本語以外の言語環境が占める割合も約 15% と、2019 年度と同水準となった。また日本以外の地域からのアクセスは約 10% で、これは 2019 年度の水準を上回った。

ウェブサイトに加えて情報発信ツールとして利用している Facebook のフォロワー数は約 42,000 名に留まった。Twitter でのフォロワー数は期初の約 49,000 名から約 55,000 名となった。2022 年から新たに Instagram の運用を開始し、2023 年度末のフォロワー数は約 10,000 名となった。これらの媒体では、展示作品に関する投稿や、庭園の季節の見どころ等の情報の投稿を、英語も含めて積極的に行った。

（3）プレスリリース

美術館や展覧会の情報を、各種メディアに告知するプレスリリースを発信し、各展覧会の開催時期に合わせた各種パブリシティへの掲載、雑誌での特集記事やテレビ番組への協力を促進した。特に、展覧会ごとのポスター・チラシのデザインをプレスリリースにも使用し、展覧会のコンセプトを一貫したイメージで訴求できるように、それに伴う制作スケジュールの管理・運用を行っている。国内のみならず、海外の各種メディアからの問い合わせに対して情報を提供し、ニーズに合った対応に引き続き努めた。また、タイムリーな情報提供と環境負荷の低減の観点から、希望者に対しては広報資料のメール配信を引き続き行っている。

(4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット

引き続き、館外3か所に開催中の展覧会ポスターを掲示。館内には次回展のポスターとチラシや、年間スケジュール、根津倶楽部パンフレットを常備し、美術館および展覧会の認知度アップに努めた。英語版の館内配布用展示目録パンフレットならびに英語版チラシの作成・配布を引き続き行った。今年度も、各展覧会の開催時期に合わせ、近隣の商店や公共施設、文化教育施設、美術館、博物館、古美術商等に展覧会のポスターやチラシを配布し、各展覧会の内容に即した特定団体への情報提供を行うなど、きめ細かな誘客活動に努めた。

(5) 内覧会・レセプション

展覧会の開催日前日(年度内7回)に、各種メディア向けの記者内覧会を実施して、展覧会の担当学芸員による展示解説を行い、メディアによる宣伝活動の促進を目指した。2020年度以降新型コロナウイルス感染症拡大のため、特別展での特別内覧会は開催を差し控えていたが、秋の特別展「北宋書画精華」で再開した。

- | | | |
|--|-------|----------|
| ・特別展「国宝・燕子花図屏風—光琳の生きた時代 1658～1716—」：4月14日(金) | 記者内覧会 | 出席者 37名 |
| ・企画展「救いのみのとけ—お地蔵さまの美術—」：5月26日(金) | 記者内覧会 | 出席者 42名 |
| ・企画展「物語る絵画—涅槃図・源氏絵・舞の本…—」：7月14日(金) | 記者内覧会 | 出席者 21名 |
| ・企画展「甲冑・刀・刀装具—光村コレクション・ダイジェスト—」：9月1日(金) | 記者内覧会 | 出席者 37名 |
| ・特別展「北宋書画精華」：11月2日(木) | 記者内覧会 | 出席者 70名 |
| | 特別内覧会 | 出席者 479名 |
| ・企画展「繡と織—華麗なる日本染織の世界—」：12月15日(金) | 記者内覧会 | 出席者 32名 |
| ・企画展「魅惑の朝鮮陶磁」、特別企画「謎解き奥高麗茶碗」：2月9日(金) | 記者内覧会 | 出席者 37名 |

(6) 施設案内パンフレット

日本語・英語・仏語・中国語・韓国語のパンフレットを館内に常備している。また外部の観光案内施設等から要望がある場合も送付サービスを行っている。

(7) 他美術館との協力

- ・例年実施してきた三井記念美術館、五島美術館との共同企画として「秋の三館 美をめぐる」キャンペーンを再開した。
- ・引き続き、美術館関連団体に加入することで、他の美術館との情報交換を推進し、美術館業界の活性化に努めた。

(8) 地域との連携

- ・港区内の美術館として、本年度も、同区が年2回発行する広報誌『港区ミュージアムネットワーク』に展覧会情報を掲載した。

- ・展覧会のポスターやチラシを館員が持参して近隣商店や団体に届けることにより、緊密な関係構築に努めた。
- ・近隣の港区立小学校に併設されている学童保育施設「放課 Go!クラブ」の児童の展示見学を、昨年より4年生以上を対象として再開している。現在、参加人数は多くても10名程度と少なく設定しているが、今後は対象学年も拡大していく予定である。
- ・港区立青山生涯学習館で、根津美術館の紹介と企画展「魅惑の朝鮮陶磁」、特別企画「謎解き奥高麗茶碗」の見どころについて担当学芸員が講演を行い、その後参加者が展覧会を見学した（2月29日実施）。

（9）有料広告

開催7展覧会で新聞広告を実施した。また、SNS 広告を展覧会の内容、ビジュアルとの親和性を考慮しつつ3展覧会において実施した。

- ・特別展「国宝・燕子花図屏風―光琳の生きた時代 1658～1716―」：朝日新聞朝刊
- ・企画展「救いのみのとけ―お地蔵さまの美術―」：朝日新聞朝刊
- ・企画展「物語る絵画―涅槃図・源氏絵・舞の本…―」：朝日新聞朝刊
- ・企画展「甲冑・刀・刀装具―光村コレクション・ダイジェスト―」朝日新聞朝刊、Facebook、Instagram
- ・特別展「北宋書画精華」：朝日新聞朝刊・読売新聞朝刊・毎日新聞朝刊・日経新聞 REVIVE、Facebook、Instagram
- ・企画展「繡と織―華麗なる日本染織の世界―」：朝日夕刊、Facebook、Instagram
- ・企画展「魅惑の朝鮮陶磁」、特別企画「謎解き奥高麗茶碗」：朝日新聞朝刊

また、2024年の展覧会を紹介するために、12月発行の『日経おとなの OFF 2024 年絶対に見逃がせない美術展』に年間展覧会スケジュールを掲載した（カラー、1頁）。

本年度も引き続き、地下鉄・表参道駅のポスター（チラシ配布用ポケット付）掲示を、7展覧会において、それぞれ2週間ずつ実施した。これを通じ、同駅利用者に毎回300枚～400枚程度のチラシを配布することができた。

（10）根津倶楽部

「根津倶楽部」は、固定客層の獲得を目的として、2009年に開始した会員組織である。2012年の第1回の制度改定に続き、美術館新創開館10周年を迎えた2019年に第2回制度改定を行なった。結果、2023年度末の会員数は1,004名となった。

（11）NEZUNET

根津美術館の会員制メールマガジン「NEZUNET」（会費無料）は、新創開館以来会員数が増え続け、2023年度は新たに618件のメールアドレス登録があり、2023年度末現在の会員数（メールアドレス登録件数）は10,328名となった。本年度は7回メールマガジンを配信した。

（12）青山茶会

「青山茶会」は、茶道にある程度習熟した人々を対象に、茶道美術への理解と普及、および当館のファンやリピーターを増すことを目的として、茶会と講座への参加及び入館料無料の特典を提供する会員制度（有料）である。新型コロナウイルス感染症流行を受け、2020年度、2021年度は会員募集を中止、2022年度は「臨時青山茶会」と称した茶会を、茶券はすべて販売制としたうえで2回開催した。2023年度は年会費、茶会と講座の実施回数、募集人数を見直したうえで会員制での実施を再

開した。

[2023 年]

第一回講座 4月29日(土・祝) 参加者 75 名
鶴見大学 教授 矢島律子氏「南蛮・島物」

第一回茶会 6月3日(土) 参加者 88 名
席主：石州流伊佐派 家元 磯野宗明氏

第二回講座 7月15日(土) 参加者 69 名
土浦市立博物館 副館長 木塚久仁子氏「元禄期の大名と芸事―殿様は大忙し」

第二回茶会 11月25日(土) 参加者 97 名
席主：表千家 堀内宗完氏

[2024 年]

第三回講座 2月10日(土) 参加者 70 名
大阪電気通信大学 教授 矢ヶ崎善太郎氏「茶室」

第三回茶会 3月9日(土) 参加者 91 名
席主：茶道速水流 家元 速水宗燕氏

(13) 美術品の館外貸出

以下の展覧会に、所蔵美術品の館外貸出を行った。

・特別展「東福寺」 東京国立博物館

会期：2023年3月7日(火)～5月7日(日)

作品：10004 重要文化財 五百羅漢図 明兆筆 2 幅

10578 重要美術品 白衣観音図 赤脚子筆 1 幅

10577 一葉観音図 啓釈筆 与可心交賛 1 幅

計 3 件 4 点

・「椿椿山展 軽妙淡麗な色彩と筆あと」 板橋区立美術館

会期：2023年3月18日(土)～4月16日(日)

作品：10322 花鳥図屏風 椿椿山筆 6 曲 1 双

計 1 件 2 点

・特別展「大蒔絵展―漆と金の千年物語」 徳川美術館

会期：2023年4月15日(土)～5月28日(日)

作品：50002 重要文化財 嵯峨山蒔絵硯箱 1 合

計 1 件 1 点

・特別展「東日本大震災復興祈念 悠久の絆 奈良・東北のみほとけ展」 東北歴史博物館

会期：2023年4月15日(土)～6月11日(日)

作品：10025 重要文化財 釈迦如来・阿難像 1 幅

計 1 件 1 点

・四百年遠忌記念特別展「大名茶人 織田有楽斎」 京都文化博物館

会期：2023年4月22日(土)～6月25日(日)

作品：60056 茶杓 銘 玉ふりふり 共筒 織田有楽斎作

計 1 件 1 点

・特別展「あこがれの祥啓―啓書記の幻影と実像―」 神奈川県立歴史博物館

会期：2023年4月29日(土)～6月18日(日)

作品：10183 披錦斎図 宗甫紹鏡賛 1 幅

10613 富嶽図 仲安真康筆 1 幅

10169 重要文化財 観瀑図 芸阿弥筆 1 幅

10166 重要文化財 山水図 賢江祥啓筆 1 幅

10614 重要美術品 人馬図 賢江祥啓筆 2 幅

10544 蔬菜図 啓孫筆 1 幅

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-----|------------|
| 10641 | 寒江独釣図 | 珍牧筆 | 1 幅 | |
| 10618 | 蓮池白鷺図 | 梅隠筆 | 1 幅 | |
| 10193 | 月夜山水図 | 玉隠英瑱賛 | 1 幅 | 計 9 件 10 点 |
- ・「虫めづる日本の人々」 サントリー美術館
 会期：2023 年 7 月 22 日（土）～ 9 月 18 日（月・祝）
- | | | | | | |
|----------|-------|---------|------|-----|-----------|
| 作品：10395 | 重要文化財 | 瓜虫図 | 呂敬甫筆 | 1 幅 | |
| 10603 | 牡丹蝶図 | 伝 小栗宗湛筆 | | 1 幅 | |
| 10604 | 芙蓉蠨螂図 | 伝 曾我宗丈筆 | | 1 幅 | 計 3 件 3 点 |
- ・特別展「「鬼柴田」勝家の実像～武勇と統治に長けた忠義の臣～」 福井県立歴史博物館
 会期：2023 年 7 月 29 日（土）～ 9 月 3 日（日）
- | | | | | | |
|----------|-------|-------|------|-----|-----------|
| 作品：40218 | 重要文化財 | 青井戸茶碗 | 銘 柴田 | 1 口 | 計 1 件 1 点 |
|----------|-------|-------|------|-----|-----------|
- ・Special Exhibition 「China's Southern Paradise: Treasures from the Lower Yangzi Delta」
 Cleveland Museum of Art
 会期：2023 年 9 月 10 日（日）～ 2024 年 1 月 7 日（日）
- | | | | | |
|----------|---------|--|-----|-----------|
| 作品：10461 | 玉澗廬山図模本 | | 1 幅 | 計 1 件 1 点 |
|----------|---------|--|-----|-----------|
- ・秋季特別展「金峯山の遺宝と神仏」 MIHO MUSEUM
 会期：2023 年 9 月 16 日（土）～ 12 月 10 日（日）
- | | | | | | |
|----------|------------------------------|-------|-----|-----------|--|
| 作品：10017 | 重要美術品 | 熊野曼荼羅 | | 1 幅 | |
| 00436 | 金峯山埋経（藤原道長願経 2 葉、藤原師通願経 1 葉） | 3 葉 | | | |
| 10376 | 蛙草紙 | | 1 幅 | 計 3 件 5 点 | |
- ・令和 5 年度秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治へ～」 長野県立歴史館
 会期：2023 年 10 月 7 日（土）～ 11 月 26 日（日）
- | | | | | | |
|----------|-------|--------|--|-----|-----------|
| 作品：40408 | 重要美術品 | 瀬戸獅子香炉 | | 1 口 | 計 1 件 1 点 |
|----------|-------|--------|--|-----|-----------|
- ・特別展「東福寺」 京都国立博物館
 会期：2023 年 10 月 7 日（火）～ 12 月 3 日（日）
- | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-----|-----------|
| 作品：10004 | 重要文化財 | 五百羅漢図 | 明兆筆 | 2 幅 | |
| 10578 | 重要美術品 | 白衣観音図 | 赤脚子筆 | 1 幅 | |
| 10577 | 一葉観音図 | 啓釈筆 | 与可心交賛 | 1 幅 | 計 3 件 4 点 |
- ・特別展「やまと絵－受け継がれる王朝の美－」 東京国立博物館
 会期：2023 年 10 月 11 日（水）～ 12 月 3 日（日）
- | | | | | | |
|----------|-------|-----------|--|-----|-----------|
| 作品：10001 | 国宝 | 那智瀧図 | | 1 幅 | |
| 10363 | 重要文化財 | 天狗草紙 | | 1 巻 | |
| 10015 | 重要美術品 | 石清水八幡宮曼荼羅 | | 1 幅 | |
| 10138 | 鏡山図 | | | 1 幅 | |
| 10376 | 蛙草紙 | | | 1 幅 | 計 5 件 5 点 |
- ・特別展「古伊賀一破格のやきもの」 五島美術館
 会期：2023 年 10 月 21 日（土）～ 12 月 3 日（日）
- | | | | | | |
|----------|---------|-------|--|-----|--|
| 作品：40309 | 伊賀耳付花入 | 銘 寿老人 | | 1 口 | |
| 40599 | 伊賀瓢形水指 | 銘 呂洞賓 | | 1 口 | |
| 40605 | 伊賀瓢形水指 | 銘 大出来 | | 1 口 | |
| 40602 | 伊賀耳付水指 | | | 1 口 | |
| 40499 | 伊賀伽藍石香合 | | | 1 合 | |
| 40500 | 伊賀木兔香合 | | | 1 合 | |

40165 伊賀筒茶碗 新二郎	1 口	計 7 件 7 点
・「青磁―世界を魅了したやきもの」 出光美術館		
会期：2023 年 11 月 3 日（金・祝）～2024 年 1 月 28 日（日）		
作品：40346 重要文化財 青磁筍形花入	1 口	
40347 重要文化財 青磁筒形瓶 銘 大内筒	1 口	
40349 青磁筍形瓶	1 口	
40352 青磁中蕪花入 銘 夕端山	1 口	
40440 青磁透彫蓮華文香炉	1 合	計 5 件 5 点
・特別展「長沢芦雪 ― 若冲、応挙につづく天才画家 ―」 九州国立博物館		
会期：2024 年 2 月 6 日（火）～ 3 月 31 日（日）		
作品：10323 重要文化財 藤花図屏風 円山応挙筆	6 曲 1 双	計 1 件 2 点
・開館 40 周年記念「源氏物語 THE TALE OF GENJI		
―「源氏文化」の拡がり 絵画、工芸から現代アートまで― 東京富士美術館		
会期：2024 年 2 月 24 日（土）～ 3 月 24 日（日）		
作品：10349 源氏物語図屏風 住吉具慶筆	6 曲 1 双	
10387 源氏物語画帖 伝土佐光起筆	1 帖	
10575 源氏物語画帖 伝土佐光元筆	1 帖	計 3 件 4 点
・四百年遠忌記念特別展「大名茶人 織田有楽斎」 サントリー美術館		
会期：2024 年 1 月 31 日（水）～ 3 月 24 日（日）		
作品：60056 茶杓 銘 玉ふりふり 共筒 織田有楽斎作	1 本	計 1 件 1 点

合計 19 ヶ所 50 件 58 点

（14）画像の貸出

本年度は、148 件の申請を受け、431 件の画像を館外の刊行物や研究者に提供した。その内、貸出し件数の多いものは以下の通りである。

燕子花図屏風 46 件、那智瀧図 10 件、天草紙絵巻 4 件、藤花図屏風 3 件、夏秋溪流図屏風 3 件

（15）施設の貸与

以下の茶会等に講堂・茶室等の施設を貸与し、催事への協力を行った。

・茶会（茶室、講堂）

[2023 年]	主となる団体または茶会名	用途	人数
4 月 22 日	茶道裏千家淡交会	茶会	70 名
4 月 23 日	東三季	茶会	38 名
5 月 9 日	一般財団法人 和なびジャパン	茶会	71 名
5 月 27 日	公益財団法人 上田流和風堂	茶会	104 名
6 月 24 日	一般社団法人 日本橋クラブ	茶会	34 名
9 月 9 日	(株)黒江屋	茶会	36 名
10 月 15 日	東三季	茶会	65 名
11 月 3 日	三田福茶会・慶應茶道会	茶会	257 名
11 月 5 日	秋苑雅集茶会	茶会	120 名

11月11日	インターナショナル茶会表千家	茶会	59名
11月19日	大日本茶道協会	茶会	60名
11月23日	孤峰不白会	茶会	60名
11月26日	淡交会東京第一東青年部	茶会	91名
11月29日	なごみの会	茶会	25名
12月2日	博文教室茶会	茶会	43名
12月3日	倉斗萌	茶会	128名
12月17日	もりお喫茶宴	茶会	63名
[2024年]			
1月26,27,28日	Wanocoto	茶会	146名
3月3日	青山学院	茶会	110名
3月17日	表千家水月会	茶会	255名
3月17日	もりお喫茶宴	茶会	25名
3月25,26日	公益財団法人大師会	茶会	685名
			計 2,545名

II 収益事業

【事業の概要】

1. 不動産事業

日本殖産興業株式会社と持分割合二分の一で建築した「青山サンライトビル」を建物の当館持分を貸店舗として日本殖産興業株式会社に賃貸し、管理は日本殖産に業務委託。他に、サンライトビル日本殖産持分の地代、駐車場の賃料、NTTドコモの移動通信設備設置料等の収入があった。

III 庶務の概要

1. 役員

2024年3月31日現在

役職名	勤務	氏名	就任年月日 (初就任年月日)	職歴		
				現職名	最終公務員暦・同一業界	
					関係歴	退職年月日
理事長	非常勤	根津 公一	2022年5月25日 (2012年4月1日)	株式会社東武百貨店 名誉会長	学校教育	なし
常務理事	非常勤	岡橋 輝和	2022年5月25日 (2020年6月26日)	山九株式会社 社外取締役	なし	〃
理事	非常勤	島尾 新	2022年5月25日 (2012年4月1日)	学習院大学 教授	学校教育	〃

〃	非常勤	渡邊 喜雄	2022年5月25日 (2014年5月30日)	株式会社カインドウェア 代表取締役会長	な し	な し
〃	非常勤	板倉 聖哲	2022年5月25日 (2014年5月30日)	東京大学東洋文化研究所 教授	学校教育	〃
〃	常 勤	松原 茂	2022年5月25日 (2014年5月30日)	公益財団法人根津美術館 副館長	な し	〃
〃	常 勤	柳瀬 茂	2022年5月25日 (2018年5月28日)	公益財団法人根津美術館 管理部長	〃	〃
〃	常 勤	野口 剛	2022年5月25日 (2022年5月25日)	公益財団法人根津美術館 学芸部長	〃	〃
〃	非常勤	佐野 みどり	2023年3月15日 (2023年3月15日)	國華主幹	学校教育	〃
〃	非常勤	前田 晃伸	2023年3月15日 (2023年3月15日)	株式会社みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問	NHK 元会長	2023年 1月
〃	非常勤	森 浩生	2023年3月15日 (2023年3月15日)	森ビル株式会社 取締役副社長執行役員	な し	〃
〃	非常勤	安田 守	2023年3月15日 (2023年3月15日)	安田不動産株式会社 代表取締役社長	〃	〃
		12名				
監事	非常勤	後藤 康雄	2020年6月26日 (2012年4月1日)	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長	な し	な し
〃	非常勤	中瀬 雅通	2020年6月26日 (2013年5月29日)	株式会社三陽商会 相談役	〃	〃
		2名				
評議員	非常勤	小林 喬	2020年6月26日 (2012年4月1日)	富国生命保険相互会社 特別顧問	な し	な し
〃	非常勤	正田 修	2020年6月26日 (2012年4月1日)	(株)日清製粉グループ本社 名誉会長相談役	〃	〃
〃	非常勤	根津 嘉澄	2020年6月26日 (2012年4月1日)	東武鉄道株式会社 代表取締役会長	〃	〃
〃	非常勤	秋山 智史	2020年6月26日 (2012年4月1日)	富国生命保険相互会社 相談役	〃	〃
〃	非常勤	堀内 光一郎	2020年6月26日 (2012年4月1日)	富士急行株式会社 代表取締役社長	〃	〃
〃	非常勤	安田 正	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人根津美術館 評議員	〃	〃
〃	非常勤	山崎 妙子	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人山種美術財団 理事長	美術館	〃
〃	非常勤	徳川 義崇	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人徳川黎明会 会長	〃	〃

〃	非常勤	根津 后方子	2020 年 6 月 26 日 (2012 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 評議員	な し	〃
〃	非常勤	近藤 誠一	2020 年 6 月 26 日 (2014 年 3 月 19 日)	近藤文化・外交研究所 代表	文化庁 長官	2013 年 7 月
〃	非常勤	河田 正也	2020 年 6 月 26 日 (2017 年 5 月 24 日)	明治ホールディングス株式会社 社外取締役	な し	な し
〃	非常勤	池田 康夫	2021 年 3 月 27 日 (2021 年 3 月 27 日)	学校法人根津育英会武蔵学園 学園長 兼 副理事長	学校教育	〃
		12 名				

2. 職員

2024 年 3 月 31 日現在

職 名	勤 務	氏 名	就職年月日	担当事務
館 長	非常勤	根 津 公 一	2000 年 1 月 4 日	総 括
副館長	常 勤	松 原 茂	2008 年 10 月 1 日	日本書画史・総括
学芸部長 兼学芸第一課長	常 勤	野 口 剛	2008 年 10 月 1 日	近世絵画・学芸部総括・情報管理
学芸第二課長	常 勤	本 田 諭	2018 年 4 月 1 日	仏教美術・中世絵画・環境整備
学芸第一課	常 勤	下 村 奈穂子	2014 年 9 月 1 日	陶磁史・茶道・学芸庶務
学芸第一課	常 勤	玉 井 あ や	2020 年 4 月 1 日	染織史・茶道・学芸庶務
学芸第二課主任	常 勤	永 田 智 世	2018 年 4 月 1 日	漆工史・茶道・学芸庶務
学芸第二課	常 勤	福 島 洋 子	2009 年 4 月 1 日	墨跡・図書管理・学芸庶務
学芸部次長 [広報担当]	常 勤	所 純 子	2012 年 12 月 1 日	広報全般
学芸部広報課長	常 勤	村 岡 香代子	2013 年 1 月 1 日	広 報
学芸部広報課	常 勤	荒 川 麻美子	2009 年 4 月 1 日	ショップ・画像管理
管理部長	常 勤	柳 瀬 茂	2018 年 1 月 1 日	管 理 部 総 括
管理部次長	常 勤	鈴 木 康 生	2001 年 4 月 11 日	設備管理・顧客サービス
管理部次長	常 勤	藤 江 暁	2019 年 10 月 1 日	設備管理・顧客サービス
管 理 部	常 勤	田 中 智 子	1990 年 9 月 1 日	総 務
管 理 部	常 勤	松 井 麻 美	2009 年 4 月 1 日	顧客・会計
管 理 部	常 勤	石 川 彩 花	2022 年 8 月 1 日	顧 客
管 理 部	常 勤	高 室 修	1975 年 3 月 1 日	施設管理
		職員 18 名	他に臨時職員 26 名	

顧 問	非常勤	岡 橋 輝 和	2020 年 6 月 26 日	全 般
顧 問	常 勤	西 田 宏 子	2014 年 6 月 1 日	学 芸 部
顧 問	非常勤	宇田川 真紀雄	2016 年 4 月 1 日	全 般
		顧問 3 名		

3. 役員会

(1) 理事会

第 43 回

開催日 2023 年 5 月 24 日 (水)

場所 根津美術館地下 1 階講堂

議事事項

第 1 号議案 2022 年度事業報告の件

根津理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

第 2 号議案 2022 年度正味財産増減決算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

岡橋常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

第 44 回

開催日 2023 年 9 月 28 日 (水)

場所 根津美術館 地下 1 階講堂

議事事項

第 1 号議案 美術品の購入の件 一古今和歌集卷第十九断簡(高野切／旋頭歌)一

野口理事学芸部長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、出席理事全員一致で承認可決した。

第 2 号議案 寄附の受入の件 一板谷波山作 彩磁椿文香炉一

野口理事学芸部長より、美術品の寄贈受入についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 2024 年度展覧会スケジュールの件

野口理事学芸部長より、本件について報告があった。

② 2023 年度正味財産増減予算書の見直しの件

事務局より、当初予算と理事会時点での決算見込みと対比する説明があった。

③ 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

④ 常務理事の業務の執行状況の件

岡橋常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

第 45 回

開催日 2024 年 3 月 6 日 (水)

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

第1号議案 2024年度事業計画の件

根津理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

第2号議案 2024年度正味財産増減予算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

第3号議案 美術品購入の件 一本阿弥光悦作 黒樂茶碗 喰違一

松原理事副館長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

第4号議案 美術品購入積立の設定（特定資産取得・改良資金の設定）の件

事務局より、新たな特定資産取得・改良資金として、美術品購入積立を設定することについて、内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

第5号議案 根津倶楽部規則改定の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

岡橋常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

（2）評議員会

第23回

開催日 2023年6月21日（水）

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

第1号議案 2022年度事業報告の件

根津理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

第2号議案 2022年度正味財産増減決算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

報告事項

① 「北宋書画精華」展について

野口理事学芸部長より、11月3日から始まる「北宋書画精華」展について説明があった。

第 24 回

決議があったものとみなされた日 2024 年 3 月 26 日

第 1 号議案 2024 年度事業計画の件

第 2 号議案 2024 年度正味財産増減予算の件

2024 年 3 月 13 日、根津理事長が評議員全員及び監事の全員に対して、書面による決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき 2024 年 3 月 26 日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条 1 項に基づき評議員の決議の省略の方法により、当該提案（第 1 号、2 号）を承認可決する旨の評議員の決議があったものとみなされた。

IV 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。